

株式会社 かとうテック

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間:2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)



作成日: 2024年7月1日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	8
緊急事態対応訓練	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	8
これまでの環境活動の紹介	9



□ごあいさつ

私どもの会社も以前から環境問題に取り組んでまいりましたが、より一層、地球及び地域社会の環境を守るため、「エコアクション21」を通して、2020年9月に環境活動を実施することになりました。

尚、二酸化炭素及び廃棄物の削減を目標に、2017年度版のガイドラインに沿って取り組みを実施します。その上で「つなげる信頼、届ける信頼」をスローガンに、全社員が一体となって環境の保全に取り組んでまいります。

環境経営方針

<環境経営理念>

国内及び海外メーカー各社の半導体及び電子部品の販売を通じ、広く社会の発展に貢献します。常に顧客の満足を獲得できる製品及びサービスを提供します。常に創造性を忘れず、経営の革新を推進し、新しい試みに調整します。常に社員の知識、能力の向上に努め、各人がその個性に合わせて充実した人生を送ることを助けます。

本業である半導体・電子デバイスの販売を通じて地球温暖化問題の取組みや地域の環境活動に従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 二酸化炭素排出量の削減に努め、電気・ガソリンの使用量を低減します。
2. 廃棄物の排出量を削減し、分別を徹底します。
3. 節水し、水の使用量削減に努めます。
4. 不具合品の発生率を低減させ、環境に配慮した製品の提案と販売促進に努めます。
5. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

制定日：2020年7月1日



代表取締役社長 石井 祐二

□組織の概要

更新日：2024年6月1日

(1) 名称及び代表者名
株式会社 かとうテック
代表取締役社長 石井 祐二

(2) 所在地
本 社 大阪市浪速区元町1丁目2番17号 フクダ不動産NAMBAビル9F
東海営業所 名古屋市中区新栄2丁目2番1号 イノフィス 5階 5-3号室
東京営業所 東京都台東区浅草橋1丁目34番10号 稲垣ビル8階

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 購買課課長 森田 朋道 TEL:06-6643-3521
担当者 資材課 高田 千明 TEL:06-6643-3521

(4) 事業内容
電子部品、半導体の販売

(5) 事業の規模

資本金	40,500 千円				
	本 社	東海営業所	東京営業所	パート・アルバイト	合計
従業員	名 17 名	5 名	4 名	名	26名
延べ床面積	m ² 313.5 m ²	71.4 m ²	61.88 m ²	m ²	447 m ²

(6) 事業年度 4 月 1 日 ～ 3 月 31 日

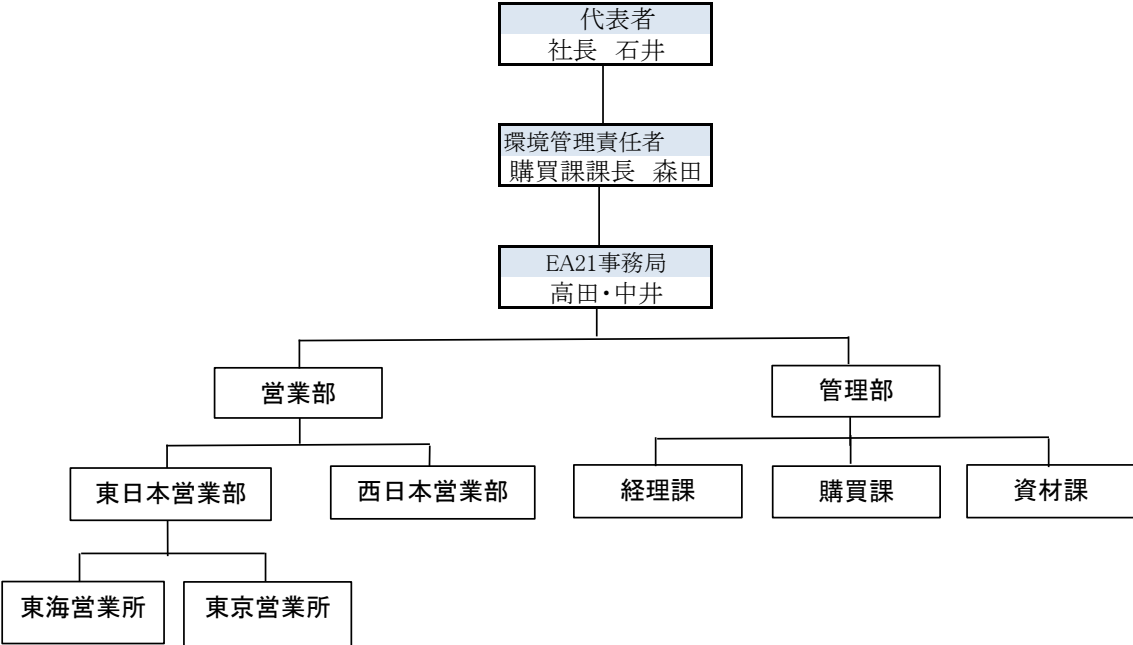
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社 かとうテック
対象事業所: 本 社
東海営業所
東京営業所

対象外:
活動: 電子部品、半導体の販売

□事業や製品(商品)の紹介





	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
EA21事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付) ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	25,222	26,440	31,655
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	212	212	213

※二酸化炭素排出係数 0.334 kg-CO₂/kWh 関西電力(2018年度)の調整後の係数
水使用量に関してはビルの共用であり、数値把握は出来ていません。

□環境経営目標及びその実績

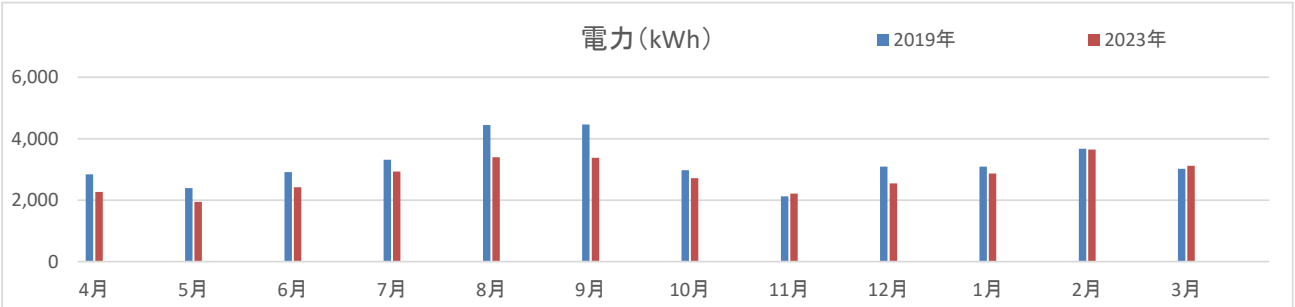
年 度 項 目		基準値	2023年		評 価	2024年	2025年	
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)	
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	12,762	12,507	11,171	○	12,251	12,124	
	基準年度比	2019年	98%	88%		96%	95%	
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	16,206	15,882	20,485	×	15,720	15,558	
	基準年度比	2019年	98%	126%		97%	96%	
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	28,968	28,388	31,655	×	27,971	27,681
一般廃棄物の削減	kg	229	218	213	○	213	206	
	基準年度比	2019年	95%	93%		93%	90%	
環境に配慮した生産活動		行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標:○達成 ×未達成

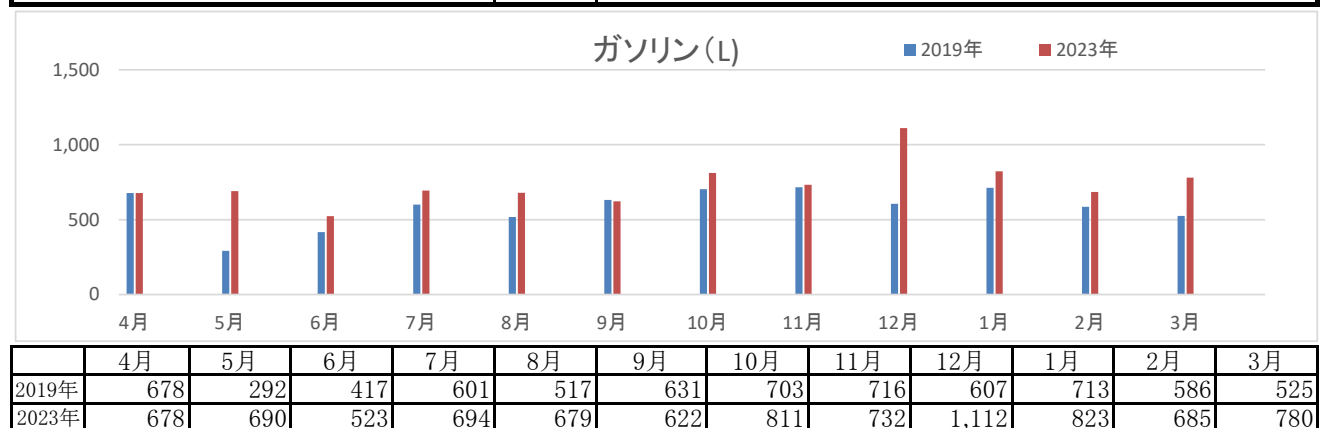
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	昨年に引き続き、夏の猛暑およびコロナ感染防止対策のための定期的な換気により、エアコンの設定温度目標(28℃)は守れなかった。サーキュレーターを2台活用し、効率的な冷暖房の循環に努めている。次年度は大阪本社の全照明をLEDに交換する計画があるので、電力の削減に期待したい。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	△	
・照明をLEDに交換	○	
・サーキュレーター導入によるエアコン効率の	○	

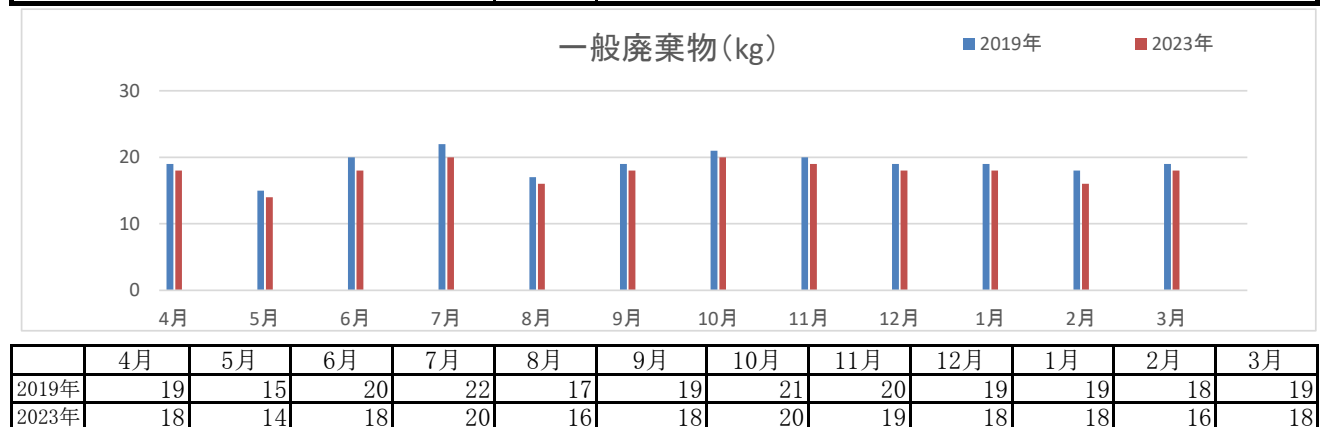


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	2,845	2,390	2,914	3,318	4,442	4,459	2,975	2,129	3,089	3,089	3,679	3,024
2023年	2,266	1,946	2,422	2,931	3,399	3,379	2,714	2,211	2,547	2,865	3,647	3,118

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	コロナによるリモート営業が徐々に通常に戻ったことで営業活動を活発化し、各営業マンの顧客訪問件数が増えた為、ガソリンの使用量が増えている。エコドライブや効率的なルート取りを提唱していききたい。
・アイドリングストップ	△	
・効率的なルートで営業	△	
・エコカーの導入	○	



一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	引き続き裏紙の使用を徹底・梱包材の再利用に努めた。
・分別の徹底	○	
・梱包材の再利用	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	



環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・不良数低減	○	ROHS品の販売に努め、顧客から要望があった場合、chemSHERPAや紛争鉱物調査等、環境調査にも積極的に対応した。
・環境に配慮した製品の販売促進	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物(可燃ごみ)
フロン排出抑制法	第1種(業務用)特定機器の簡易点検(1回/3ヶ月)(テナント管理)
グリーン調達基準	取扱製品(調達品)のRoHS法規制など遵守
廃掃法	大阪府条例、一般廃棄物焼却場持ち込み禁止遵守
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫等長期使用、廃棄時再商品化費用支払い遵守
小型家電リサイクル法	小型家電28品目、材料再資源化貢献
道路交通安全法	交通法規の遵守 検知器でのアルコールチェックの義務化(令和4年4月より)

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 大地震による火災の発生	
■実施日： 2023/4/17	■実施場所： 大阪本社 会議室
■参加者： 全社員(当日不参加者及び東海営業所所属には、メールにて視聴動画のリンクとチェック資料を送付し、後日各自で視聴)	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☐ 避難訓練 大阪市消防局が発表している避難訓練の動画を視聴し、クイズ形式のチェックリストに回答することで地震や火災の際の避難の方法を学んだ	
手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし	
■実施状況の様子 視聴した動画：大阪市消防局「大地震発生時の対応について」(16分)「消火訓練」(1.5分)「通報訓練」(2分)「避難訓練」(1.5分) 各自で実際に避難経路や消火器の場所等を確認してもらい、防災への意識や緊急時の知識が深まったと思う。	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2024年6月1日

【前回の指示への取組結果】	
昨年に引き続き、夏の猛暑およびコロナ感染防止対策のための換気の奨励によりエアコンの電力使用は大きかったが、複数のサーキュレーターを活用するなど工夫を重ね、電力によるCO2削減は達成できた。しかし、コロナ収束により、リモート会議で打合せをしていた遠方の取引先にも実際に訪問するスタイルの営業活動を再開した為、ガソリンの使用量が大幅に増えた。今後は各自ルート取りの見直しやエコドライブを意識しながら、営業活動を活発に行う中で、積極的にエコ活動に取り組んでいく。	
<情 報> ◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等) コロナ収束により対面での営業活動の必要性が生じ、顧客への訪問営業が活発化した。 ◇環境経営目標・計画の達成状況 夏の猛暑・感染予防のための換気により、冷房の設定温度を上げることが難しかったが、サーキュレーター導入により、冷暖房の効率を上げるよう努めた。 自動車での営業活動の活発化、遠方の顧客への訪問再開により、ガソリン使用量は大幅に増えた。 ◇その他 特になし	<見直し・指示> ◇環境方針 引き続き感染症予防に努め、環境方針は変更せず継続していく。 ◇環境経営目標・環境経営計画 環境経営目標・環境経営計画共に変更はせず、冷暖房の効率化やLED照明の更なる増加、エコドライブ運転や効率的なルート取りなどを通して、営業活動が活発化しても二酸化炭素削減ができるよう努めていきたい。 ◇実施体制他 エコアクション21の活動を周知しつつ、基本的な環境経営方針や目標・計画等は変更せずに進めていく。
昨今のエネルギー不足による価格高騰に加え、運送費の高騰、円安傾向により、弊社の営業活動にも大きな影響がありました。また、コロナの影響で余剰在庫を抱えたお客様の買い控えも重なり、弊社のみならず業界全体で苦しい一年となりました。そんな中、新たな取引先を模索し、製品の入手経路を広げ、お客様にご満足いただける製品をお届けできるよう尽力して参りました。環境目標については、営業活動が活発化していく中でも、さらにCO2削減できるよう工夫し、積極的に取り組んで参ります。引き続き環境方針を確実に実践し、エコアクション21を社員一丸となって取り組んで参りたいと思います。	

- | | | |
|-----------|--|-------------------------------|
| 環境経営方針 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |
| 実施体制他 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |

□これまでの環境活動の紹介

ペットボトル
キャップの回収

※2023年12月
1,161個の
キャップを
エコ・ワクチン
協力会に
寄附致しました。

ペットボトルキャップ 受領書 2023年12月22日

株式会社 かとうテック 様 特定非営利活動法人エコ・ワクチン協力会
〒532-0204 東京都千代田区有明2-23-11
TEL (03) 5295-6200 FAX (03) 5296-6772
E-MAIL info@ecovaccine.or.jp
送付先 06-6846-1400
ペットボトルキャップ回収寄附

今回のご協力キャップ 受取日 2023/12/21

重量	個数 (概算)
2.7 kg	1,161 個

ワクチン種類	一人分の価格	ワクチン接種人数
ポリオ (小児用)	約 20 円	約 1.35 人分
BCG (結核)	約 7 円	約 3.9 人分

※接種からご協力ご集まりいただいたキャップは、重量で1kgあたり40名分として換算し、1kg=10円です (※換算の子どもにワクチンを 日本委員会) に寄付いたします。ご協力ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

CO₂換算 8.5 kg の削減に繋がりました
※キャップをゴミとして焼却しますと、1kgあたり3,150gのCO₂が発生します。

※ご報告
エコキャップ 各地の自治体への寄附活動
※キャップの回収は、エコキャップ協会の委託を受けた株式会社エコ・ワクチン協力会が行っています。回収されたキャップは、各地の自治体へ寄附され、ワクチンとして活用されます。回収されたキャップは、各地の自治体へ寄附され、ワクチンとして活用されます。回収されたキャップは、各地の自治体へ寄附され、ワクチンとして活用されます。

JCVの回収事業者団体リストで登録の機関をさせていただきます。
<https://www.jcv.or.jp>

エコ・ワクチン by エコ・キャップ 小さなキャップに、大きな心で
「世界の子どもにワクチンを」



エコドライブ講習会
に参加しました。



□編集後記

コロナによる活動自粛はほぼなくなり、ようやく日常が戻ってきたと喜ばしく感じる一方で、営業活動が活発化したことによりガソリンの使用量が増えるなど、環境に負荷がかかる要因もまた戻ってきてしまったと感じました。次年度は大阪本社での全照明のLED化を計画しており、電力削減を通じて環境負荷の削減に取り組んでいきたいと思っています。